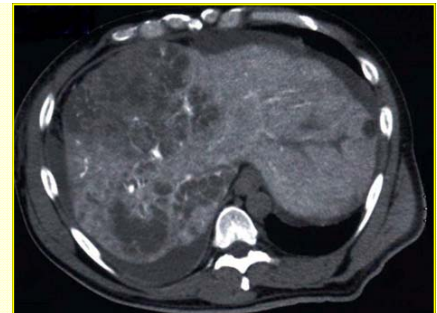


第9回CPC

HBV感染指摘後、急激な経過を示した1例

症 例：40歳代 男性
主 訴：ショック状態、腹部膨満
家族歴：母、叔父とも慢性B型肝炎
現病歴：1年前に出血性胃潰瘍にて近医入院した際にB型肝炎硬変と診断された。1ヶ月前に腹部膨満感を自覚し、腹水穿刺・腹部造影CTが施行され、紹介入院となった。
(資料は当日配布) 第8日目、突然の呼吸困難、心停止を来とし、永眠された。(下図は入院時腹部CT)



ミニレクチャー

最新のウイルス性肝炎の治療ガイドライン

講 師： 土島 睦 准教授 (消化器内科)

CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。

開催日：平成20年10月22日(水)
時 間：17:30~19:00
場 所：病院本館C41講義室
司 会：森本 茂人 先生
安田 幸雄 先生

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部(内線 5348)